

事業者向け 児童発達支援自己評価表

令和4年度

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・2つの訓練室を上手に使い分けている。 ・指定基準を超えて広い。 ・2つの訓練室があることで、活動幅が広い。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			・過剰なくらい、人員を満たしている。 ・普段から指定基準を超えており、特に外出時には、職員数を増やし利用者の安全な確保に努めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1		・利用者の障害に合わせている。 ・活動内容により、各訓練室を使い分け、利用者に活動目的が分かりやすく工夫している。また、1日の流れが文字と絵で分かるボードがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			・サービス提供後、職員が子供のために丁寧に清掃してくれている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			・毎日の昼礼にて意見交換し、PDCAに繋げている。 ・何か問題があれば、職員皆で対策話し合い、その対策が有効であったかどうか皆で検証し、次の改善へ向かうように心掛けている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		2	・支援の評価や内容の公開はしていない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3	・義務化されていない。 ・義務ではないため実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			・保護者と定期的に面談を実施したり、何か用件の際に色々な余談をし、平素から子どもや保護者について情報を把握するよう、心掛けている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		2	・中央療育センター等外部機関からの発達診断結果を、共有して頂けるよう保護者をお願いしている。また、その結果は全職員が閲覧できるようにしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		3	・ガイドラインに記載されているような「地域支援」のことは設定していない。 ・計画書の内容は、今後発展させていくべき。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・常勤職員が主となり、立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・運動、SST、外出、音楽等様々な内容を取り入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・利用者への連絡帳にて事業所のサービス提供を兼ね詳細に記録している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	2	・終了後全員で打ち合わせることはないが、開始前には打ち合わせている。 ・送迎時間でもある為、終了後の打ち合わせはしないが、伝達できるツールはある。 ・利用者への連絡帳にて事業所のサービス提供を兼ね詳細に記録している。 ・常勤職員は送迎へ出るため職員全員で打ち合わせは出来ないが、送迎から一番早く戻った常勤職員へ伝達、または施設長へ伝えるべきことは電話で連絡する体制を整えている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		1	・簡易的な記録を取っている。 ・利用者への連絡帳にて事業所のサービス提供を兼ね詳細に記録している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・利用者への連絡帳にて事業所のサービス提供を兼ね詳細に記録している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		1	・主に施設長が出席している。通常出勤時間内であれば、児発管も出席している。

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		1	・中央療育センター内の相談員と連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	4	・該当者がいない為不明。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	1	3	・該当者がいない為不明。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	3	・支援内容など細かいことを話す機会が取れない。 ・該当する児童はいない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3	2	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		4	・中央療育センターの相談員から必要に応じて助言を頂いている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	2	・公共の公園などを利用して、障害のないお子さんと関わることもある。 ・交流はない。不要だと思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	3	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6		1	・日々の利用者への連絡帳で、詳細に伝えている。保護者の心情を察した上で、連絡帳に書面として残すべきでない時は、その日のうちに保護者に電話で詳細を伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	3	・集団ではないが、支援を行っている。 ・職員の支援方法での成功策は保護者にも伝え、家庭でも実践して頂くようお願いしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		1	・保護者とメールや電話、連絡帳、送迎時を通して相談しやすい体制を整えており可能な限り、早めの連絡、対応を心掛けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	4	・一部の保護者には実施できた。他の保護者にも広めていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		1	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		1	・今年度から『こもれびたより』の発行を始め運営方針や活動の様子を保護者に伝えるようにしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		1	・アプリ(+メッセージ)では、相互の利用者が映る写真を送る承諾を頂いている。 ・ご家庭以外には、個人写真のみを送るなど注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		1	・各保護者やご家庭について、家庭訪問等で理解するよう努め、コミュニケーションの方法に十分配慮するよう心掛けている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	3	・コロナで難しい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		1	・保護者への周知が課題
非常時等の	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・利用者が飽きないように、動画などを利用して工夫をしている。 ・必ず月一回実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			・契約時のアセスメントで確認をしている。 ・事務所内の見える場所にその内容を掲示してある。 ・該当児童が利用する日に打ち合わせで職員に周知している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	1	該当する児童はいない。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		1	・該当児童については、個別支援計画書に記載の上、保護者に説明し承諾を頂いている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。